

# ウエルハーネスだより

215号

## 理事長からのことば



上尾市向山1-14-7  
社会福祉法人 竹柿会  
TEL：048-782-0575  
FAX：048-782-0590  
令和6年4月25日発行

ようやく春になったという感じがします。ぼたんやつつじが色鮮やかに咲いています。もうすぐゴールデンウィーク、何となく浮き立つ気分になりますね。ただ、私事ですが昨年から花粉症に悩まされるようになりました。スギ花粉が終わり、これで外出できるかなと思ったら、今度は黄砂にやられました。昨年までは全く気にならなかったのですが、突然喉にもものすごい違和感を感じました。ちょうど胃カメラの時の麻酔をかけたような感じです。黄砂はいつまで続くのでしょうか。春の気分が憂鬱になります。

さて、また嫌な事件が起きました。皆さんご存知だとは思いますが、訪問介護の事業所は訪問介護員のなり手がいないために閉鎖されるケースが相次いでいます。それに追い打ちをかけるような事件が横浜で起きました。

訪問介護員は9割以上が40歳以上です。もともと若い人はなりたがらない状況があります。それは待遇面の問題もありますが、密室化せざるを得ない利用者宅で、1対1の関係で向き合っただけで臨機応変の対応を求められるので、「人をあしらう」というある程度の人生経験が必要になります。また若い女性なら要介護者であったとしても、男性利用者と1対1でいることに不安を感じることもあるのではと思います。ましてや、昨今話題になっているような利用者や家族が威圧的な態度をとる場合もあります。現在、各事業所では、カスタマーハラスメントは許さないという毅然とした対応と、それを予防するシステムを作ろうとしています。

しかし、どうにも防ぎようのない事件が起きてしまいました。利用者宅を訪れた60代の女性ヘルパーが、利用者の息子に包丁で腹などを数回刺されてしまったのです。幸い軽症ですみましたが、「家に入ったらいきなり刺された」と証言しており、理由もなく襲われては防ぎようがないのではと思います。その後、路上で凶器を持ったまま逮捕された容疑者は、「何でやったのか答えられない」と動機を語っていません。もしかしたら、何らかの精神系のトラブルがあったのかもしれません。

こうした事件に対して、訪問介護事業者が取りうる対策はあるでしょうか？ヘルパーに対してどのように注意喚起するか悩む問題であり、防ぎようがないのではと思います。

中には利用者宅に行くのが恐ろしくなり、仕事を辞めようとする人も出てくるのではと思います。家族がヘルパーをしていたら心配になる人も出てくると思います。自分の子が介護をしたいと言っても、ヘルパーだけは避けてほしいとか、訪問介護だけでなく小規模多機能居宅介護などの訪問サービスも避けたいということになるかもしれません。

今までの家で暮らし続けたいという人は多いと思います。そのために訪問介護は重要な介護サービスです。今回の介護報酬のマイナス改定に加えて、こういった事件が起きると訪問介護が絶滅していくのはそんなに先の話ではないのではと危惧されてなりません。

## 3～4月の行事



4/15に入所者様を対象とした健康診断がおこなわれました。特養では、お茶会やお誕生日会のレクリエーションがおこなわれました。ご面会時、施設周辺にはなってしまうかもしれませんがお散歩に行ってくださいことも可能になりました。

デイサービスでは、端午の節句制作や風船バレー等のレクリエーションがおこなわれました。



## 4～5月の予定

5/4に端午の節句の行事食として 鮭ごはん・すまし汁・和風おろし豆腐ハンバーグ・れんこんきんぴら・いろどり野菜のサラダ・キャラメルムースケーキ・柏餅を召し上がっていただく予定です。

デイサービスでは、運動会やバラ園見学等を予定しております。また、ギター演奏やハンドマッサージのボランティア様にも来ていただく予定です。

特養では、誕生日会等のレクリエーションを予定しております。





お花見&お散歩



制作(鯉のぼり・カレンダー)



ゲームレク(ボーリング・風船バレー・カップゲーム)



おやつ工房(お好み焼き・カップケーキ)



お誕生日会

